

冬ノ一四表

れみて花さかりにはことにあはれみあひ

けり其中に左近中将定家朝臣へさこんのちうじやうさだいへのあそんへは

菩提院へぼだいゐんへの三位へみへ中将のもとへ西行か往生

の事申つかはしけるにかくそよまれける

もち月の比はたかはぬ空なれど

消けん雲の行衛かなしな

返し

むらさきの雲ときくにそ慰へなぐさむへる

きえけん人はかなしけれども